

今月号の特集は、学校と学童保育の連携。

保護者会の共同運営が大半の大阪市において、難しい面の多いテーマです。しかし、読んでいくと、子どもたちが安心して豊かな放課後を過ごす上で学校との連携はやっぱり大事なこと。諦めず小さなことを足掛かりにして一つ、また一つと連携を太くしていきたいと思いました。

そして、埼玉県原市場かたくりクラブ河野指導員の『あたたかなまなざしをつなげ、「子どもが安心できる生活」を』と、原市場小学校の石井先生の『こどもをまんやかに、共感しあい、語りあえる関係を支えに』を読むと、「うわあ、こんなすてきな関係を結べたらみんなが幸せになれるだろうなあ」と感じました。

今いる大阪市の状況が「当たり前」ではなく、「こんなこともできるんだ！」と、他地域の情報から学んだり目指す方向が見つけられたりするの、日本の学童ほいく誌ならではのですね。

東成区指導員 中西三保